



五条大橋・下水道工事現場

市立芸大生がアートで彩り

壁面に歴史絵巻

町名由来テーマに

京都市下京区の五条大橋西詰中央分離帯の下水道工事現場に、京都市立芸術大の学生によるアート作品が目見えた。地域の町名の由来を1点ずつ独創的にデザインしたもので、殺風景な壁面に彩りを添えている。

工事現場は幹線下水道を掘り進める発進基地で、デザイン画は騒音を抑える「防音ハウス」という高さ13・5層の仮設建物の壁面に描いた。縦4層横1年生が市景観・まち

1年生が市景観・まち

づくりセンター主催の講義を受け、現地を歩き、住民への聞き取り調査をして描いた。

すでに弁財天町や悪王子町などのデザイン画が並んでいる。琵琶を奏でる天女や剣で魔物のような生き物と戦う姿、十二単姿、キツネと鳥居など、それぞれのもちろフを独自の構成で描いており、歴

府文芸会館にロックの響き

来月23日 若手ミュージシャンら企画



イベント本番に向け、会場の府立文化芸術会館で打ち合わせをする若手ミュージシャンたち(京都市上京区)

京都を拠点に活動する若手ミュージシャンらが協力し、地元音楽シーンを盛り上げようと来年1月23日午後3時から、京都市上京区の府立文化芸術会館で「2010京都新旬ロック!!」を催す。普段は古典芸能や演劇の舞

史絵巻が繰り広げられていた。2011年末まで展示する。(上野正俊)